



第3次北杜市総合計画

北杜新時代 幸せ実感 チャレンジ北杜

2021-2030

子どもが賑わい、 誰もが豊かさと幸せを実感できるまちを目指して

日本は今、大きな転換期を迎えています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、これまでの社会のあり方を一変させ、経済や人々の生活様式にも甚大な影響を及ぼしています。また、人口減少、少子高齢化の進展、地球規模での環境変化、災害リスクの高まり、デジタル化の進展など、私たちを取り巻く状況は、大きく変わろうとしています。



このような激動する時代の潮流を大局的に見据え、ますます複雑・多様化していく市民ニーズや地域課題に的確に対応していくため、北杜市の将来のあり方を展望するなかで、本市の特性を活かしたまちづくりを行うことに主眼を置き、市民、企業、団体など幅広い皆さまのご意見を伺いながら、新たな時代に臨む指針として第3次北杜市総合計画を策定しました。

わが国の人口は、平成20(2008)年をピークに減少に転じており、本市の人口も減少傾向にあります。また、全国の令和元(2019)年の年間出生数は、過去最少を記録しています。

さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大は、結婚、妊娠、出産、子育て世代に大きな影響を与えており、安心して子どもを産み育てられる環境整備の重要性が高まっています。深刻さを増す少子化の問題は、地域経済に多大な影響を及ぼす、まさに市民共通の最優先課題です。この課題に真正面から立ち向かうため、「子どもが賑わう夢叶うまち」を実現するという、強い決意を込めて、本計画に「2030年に子どもの数を2倍」を目標として掲げたところです。

この目標を達成していくためには、時代の変化を捉えながら、本市の強みをさらに磨き上げ、最大限に活かすとともに、新しい価値を創造していくことが重要です。「子育てするなら北杜」「移住定住するなら北杜」と子育て世代や未来を担う若い世代に選ばれる地域になるとともに、多様性を力に、まちづくりを担う様々な主体と「北杜は一つ」との想いを念頭に課題解決に取り組み、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが安心して暮らし、活躍でき、幸せを実感できるまちの実現を目指します。

結びに、本計画の策定にあたり、真摯にご議論いただきました北杜市総合計画審議会委員の皆さま、市民、企業、団体及び市議会の皆さまから貴重なご意見、ご提案をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。本計画の実現に向け、引き続き、市政への一層のご理解とご参画をお願い申し上げます。

令和4(2022)年3月

北杜市長 上村英司

2021-2030

2030年、 地域のありたい姿

将来都市像

人と自然と文化が躍動する
環境創造都市

北杜新時代
幸せ実感
チャレンジ北杜

5つのありたい姿

第3次北杜市総合計画（以下、「第3次総合計画」という。）では、地域の個性や強みを活かしながら社会変化に対応し、市民が幸せを実感できる都市を実現するため、将来都市像である「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を継承しつつ、5つの「2030年、地域のありたい姿」を設定します。



子どもの笑顔を
自分の笑顔に

子どもの笑顔が自分の笑顔になるまち



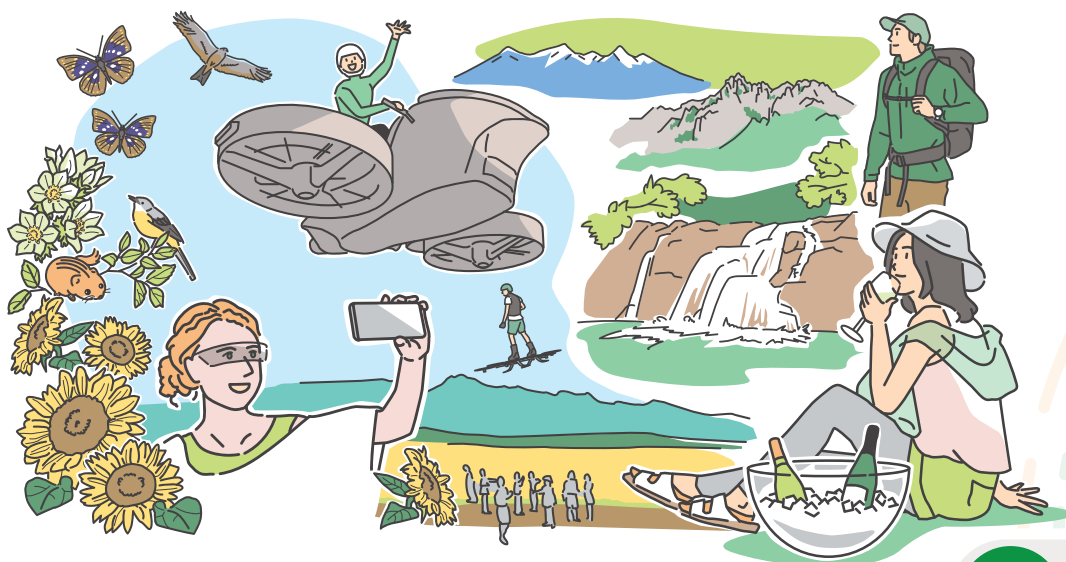
ともに
よりよく生よう

ともにによりよく生きるまち



新たな価値を
奏でよう

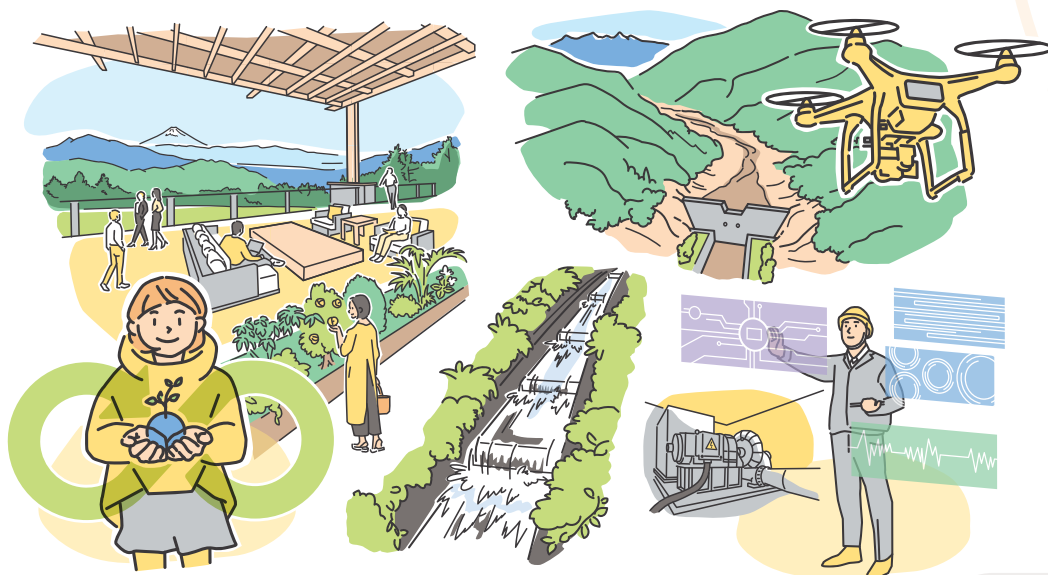
新たな価値を奏でる創造のまち



もっと世界を魅了するまち



もっと世界を
魅了しよう



安心をずっと、サステナブルなまち



安心も
サステナブルも

Contents 目次

第1部 基本構想 2021▶▶▶2030

第1章 序論	2
1-1 総合計画の趣旨	2
1-2 計画の構成・期間	2
1-3 まちづくり・計画策定の視点	3
第2章 社会情勢の変化	5
2-1 ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応	5
2-2 デジタル化、DXへの対応	6
2-3 中部横断自動車道、リニア中央新幹線の開通への対応	6
2-4 少子・超高齢社会への対応	6
2-5 持続可能な社会の実現へ	7
第3章 北杜市を取り巻く状況と今後の見通し	8
3-1 人口	8
3-2 産業	10
3-3 財政	12
第4章 2030年、地域のありたい姿	14

第2部 前期基本計画 2021▶▶▶2025

第1章 人口目標	22
第2章 リーディングプロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）	24
第3章 部門別計画	36
1. 子育て・教育・若者	38
1-1 安心して子どもを産み育てられる支援の充実	38
1-2 地域ぐるみの保育・子育ての実現	40
1-3 魅力ある学校教育の推進	42
1-4 信頼される学校教育の推進と教育環境の整備	44
1-5 子育て世代・若者の移住・交流の促進	46
2. 健康・福祉	48
2-1 こころとからだの健康づくりの推進	48
2-2 地域福祉の充実	50
2-3 介護予防の強化と高齢者福祉の充実	52
2-4 障がい児・者福祉の充実	54



3. 市民生活・文化	56
3-1 市民参加・協働の推進	56
3-2 生涯を通じた学びの支援	58
3-3 スポーツ・文化活動の支援	60
3-4 多様性を認め合う共生社会の実現	62
4. 産業経済・観光	64
4-1 地域特性を活かした農林業の振興	64
4-2 感動を届ける観光のまちづくりの推進	66
4-3 市内企業の成長・発展の支援	68
4-4 働き方改革の推進	70
5. 環境・都市基盤	72
5-1 暮らしの安全と生活の安心を守る	72
5-2 脱炭素・循環型社会の構築	74
5-3 自然と暮らしが共存するまちづくりの推進	76
5-4 安心で快適なインフラ整備	78

第3部 計画推進にあたって

1 数値目標による進捗管理	82
2 評価検証を行うための体制	83
3 庁内マネジメント体制	83

コラム

1 市民参画・官民協働の考え方	4
2 新型コロナウイルス感染症の影響ととるべき対策	5
3 SDGs 未来のために、今できること	7
4 避けるべき未来の姿 ～負のシナリオ～	13

資料編	85
I 目標項目、指標設定の考え方	86
II 成果指標一覧	88
III 関連計画一覧	96
IV 策定体制・策定経過	98
V 総合計画審議会	101
VI 計画策定に係る市民参画の状況	104
VII 用語解説	108
VIII 市の概要	114

※「*」の単語は、用語解説を掲載しています。P108からの用語解説をご参照ください。

